

GSJ 地球をよく知り、地球と共生する

地質ニュース

2023

9

Vol.12 No.9



9月号

-
- 251 **日本海拡大時の大地の急速沈降と回転の同時発生を発見
—地質調査が明かす棚倉断層帯沿いの堆積盆の詳細な発
達史—**
細井 淳・谷井優理恵・岡田 誠・羽田裕貴
-
- 255 **「日本地質誌」抄訳 —J.J. ライン著『日本の実地調査
と研究』第1巻（1881）より—（その2）日本の火山**
山田直利・矢島道子
-
- 262 **第39回GSJシンポジウム「美ら島の産業と環境の調和
を科学の力で —陸-沿岸-海洋研究の最前線—」開催報告**
今泉博之
-
- 267 **2023年度第1回地質調査研修（地質図作成未経験者向け）
実施報告**
利光誠一・森田澄人・金子翔平
-
- 272 **尾上 亨さんと地質標本館「化石クリーニング体験学習」
イベント**
利光誠一・兼子尚知・辻野 匠・中島 礼
-
- 276 **新人紹介 中谷貴之・飯島真理子・細野日向子・羽田裕貴**
-

生痕化石

地層に 刻まれた 生命の痕跡

むかしの生物の巣穴や^{はあと}這い痕が地層に残されたものを「^{せいこんかせき}生痕化石」といいます。それを調べることで地層が^{つくられた場所}つくりだされた場所の環境を知ることができます。地質時代のくわしい情報を読み解くため、産総研がすすめている生痕化石の研究について紹介します。

2023
10/3^火
~12/24^日

特別講演

講師：清家 弘治
(地質情報研究部門)

10/14^土

地質標本館 映像室



ご予約は
こちら

開催場所：地質標本館1階ホール
開館時間：9:30~16:30
休館日：毎週月曜日(休日の場合は翌平日)

協力：大阪市立自然史博物館
筑波大学
東京大学総合研究博物館

入場
無料



国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

GEOLOGICAL MUSEUM

地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
TEL: 029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典
副委員長 小松原純子
委員 竹原孝
児玉信介
戸崎裕貴
草野有紀
宇都宮正志
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第 12 巻 第 9 号
令和 5 年 9 月 15 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori
Deputy Chief Editor : KOMATSUBARA Junko
Editors : TAKEHARA Takashi
KODAMA Shinsuke
TOSAKI Yuki
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 12 No. 9
September 15, 2023

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan

岩手県田野畑村，羅賀海岸に露出する下部白亜系宮古層群と古い海成段丘群 [cover photo](#)



宮古層群は前期白亜紀の沿岸～陸棚成層であり，北三陸海岸に沿って点在する。この地層からは，オルビトリナ，腕足類，二枚貝類などの大型化石が多産することが知られ，国際的な層序対比により，前期白亜紀（宮古世：アプチアン～セノマニアン最前期）の国内模式地となっている。特に田野畑村の羅賀海岸付近には，海蝕崖として大規模に露出している。一方，この海岸付近の標高 100-250 mには 11 万年前に降灰した Toya テフラを載せる古い海成段丘（写真中央奥）が3面存在することが知られてはいるが，その詳細は未だ明確ではない。

（写真・文：七山 太 産総研地質調査総合センター 地質情報基盤センター / ふじのくに地球環境史ミュージアム）

The Lower Cretaceous Miyako Group and old marine terraces exposed on the Raga coast in Tanohata Village, Iwate Prefecture, Japan.
Photo and caption by NANAYAMA Futoshi